純浄観

純浄観は三宝院内の建物です。豊臣秀吉（1537-1598）がお花見を開催するために山腹に建てられました。その後、三宝院に移されました。

襖には、現代風景画家である浜田泰介（1932-）の桜とカエデの葉の絵が飾られています。この絵は 1989 年に描かれたものです。純浄観は重要文化財に指定されています。